

小笠原諸島振興開発事業における外来種対策・植生回復のこれまでの成果と今後の取組予定

外来種対策

◎自然環境の基礎となる植生を破壊し、裸地化により土壌浸食を引き起こすノヤギを、追い込み柵や銃器等により排除

■これまでの成果

- ・これまでに聳島、媒島、弟島、兄島などで根絶
- ・排除により、植生や希少植物の回復がみられる

| 島名 | 作業年度 | 状況 |
|----|-----------|-----|
| 媒島 | 平成9～11年度 | 根絶 |
| 聳島 | 平成12～15年度 | 根絶 |
| 兄島 | 平成16～19年度 | 根絶 |
| 弟島 | 平成20～23年度 | 根絶 |
| 父島 | 平成22年度～ | 排除中 |

主な島のノヤギ排除状況



ノヤギ追い込み柵状況

■今後の取組予定

- ・ノヤギ排除は、父島において継続して実施し、根絶を目指す
- ・ノヤギ排除により増加したギンネムなどの外来植物の増加を防ぐための駆除作業を行なう



ノヤギ状況



ギンネム等外来植物繁茂状況

植生回復

◎ノヤギ排除完了後も、土壌浸食が進行している聳島列島において、土留めや侵食防止シートの設置等を実施

■これまでの成果

- ・媒島において事業継続中
- ・一部で植生が回復し、赤土の流出が収まってきている



媒島植生回復状況



■今後の取組予定

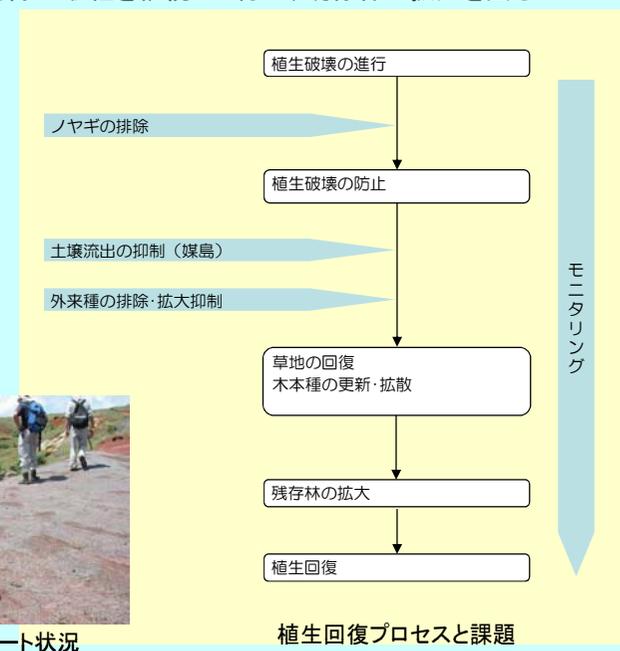
- ・土壌抑制、外来種排除の取組を継続して行い、既存林の拡大を図る



土留め設置状況



侵食防止シート状況



植生回復プロセスと課題